



次世代へ夢と希望のまちづくり

1、地方分権時代の財政確立

5、区内業者・中小企業・商店街活性化支援

9、資源循環型社会と環境施策の充実

2、安心・安全へ抜本的解決に全力

6、高齢者施策の充実と一層の推進

10、議会改革の推進

3、子育て支援の充実

7、区民の元気いきいき施策の充実

4、福祉の街づくりの推進

8、学校教育、生涯学習の推進

議会改革は「行政と議会は車の両輪」を前提に、区民の声をいかに区政に反映させるかという視点でとらえ、議会改革を通じ、区民福祉の向上につながる行政改革を推進します。

渡辺かつひろ議員の代表質問要旨（3月定例区議会）



■花川区長の3期目出馬表明を受けて

【質問】（渡辺議員）新年度予算の特徴は。

【答弁】（花川区長）4つの重点戦略、子育て、高齢者施策、景気、就労、雇用、水害対策等に予算を積極的に配分しています。

■都市計画周辺の課題

【質問】補助83号線（旧岩槻街区）区域内に児童遊園、町会事務所があり住民は存続を望んでいます。

【答弁】83号線の第1期事業区間に中十条2丁目児童遊園や中十条1丁目町会倉庫があり、中十条3・4丁目の会館もあります。児童遊園は密集事業の中で確保し、町会会館は用地及び建物が補償の対象になるので都と連携して調整します。

【質問】十条駅付近立体交差化事業は都主導型ですが、区主体となって関係機関と調整し早期着工をすべきです。

【答弁】区の「十条駅付近の道路、鉄道の立体化に伴う沿線まちづくり検討会」で具体的に進めます。

【質問】東十条駅南口の十条跨線橋架け替えについて、今回予算化された基本設計の範囲を示して下さい。

【答弁】今年度はJR敷地の測量と地質調査を行い、来年度は橋梁本体と前路、駅前広場、バリアフリーの一体的な整備に向け基本設計に入ります。

■水害対策

【質問】昨年と1昨年の集中豪雨で石神井川沿線は大きな被害を受けました。2度と発生しないよう対策は—

【答弁】国と都に調節池整備の早期実現を求めます。

■高齢者対策

【質問】介護従事者が安心して働けるよう支援の充実、要介護3の方にも「紙おむつ」を区独自で支給を。

【答弁】介護職員処遇改善交付金の継続を国に要望したところです。「紙おむつ」支給は高齢者保健福祉計画の中で検討します。

■生産人口世帯の北区転入促進対策

【質問】ファミリー世帯に住宅購入に関わる利子補給制度の対策を考えてほしい。

【答弁】支援制度について検討します。

平成23年度北区一般会計予算に対する自民党議員団の賛成討論要旨

平成23年度第1回北区議会定例会（2月23日～3月22日）に上程された新年度北区一般会計と4つの特別会計予算の審査結果について、戸枝大幸議員が自民党議員団を代表して次のような賛成討論をおこないました（要旨）

平成23年度北区一般会計予算は、区の最大限の努力と経営見直しにより花川区政の区民サービスの低下を最小限に抑え、安心・安全の北区づくりへの意欲が見られ高く評価します。

さらに、わが会派の要望である地域

力を活用して区民協働で支えあう社会づくりについては、町会・自治会への活動補助費の増額、高齢者の元気施策では地域のシニアクラブにイベント助成、特別養護老人ホームの増設、地域包括センター開設、各種区民健康診断の充実、子育て支援策での新たな取り組み、待機児ゼロを目指した区内保育園の増設など評価します。

また、バリアフリーの町づくり計画の推進、都市計画道路の整備促進、主要駅周辺駐輪場対策、環境対策の前進、教育施設の整備促進、教育先進都市を目指した施策の充実、高校生までの医療補助の拡充など、主な施策を上げて

も北区が目指している安心・安全の町づくりは評価します。

しかし、さらに施策を前進させるため、わが会派が申し上げた、いつ来るかわからない災害に対応する防災対策の充実、地域コミュニティの核である区民施設の改築、安定した財源確保、将来を見据えた町づくり基金の積み立て、国有地・所有地の有効活用など、まだまだ「北区づくり」のため、多くの要望と提案をいたしました。23年度予算のなかで、しっかりと対応し、区民生活の向上をはかれることを強く要望し、北区一般会計予算ほか4会計予算に賛成します。